

高等学校 令和5年度

教科 工業（建築） 科目 建築構造演習

教科： 工業（建築） 科目： 建築構造演習

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 5 組～ 組

教科担当者： (5 組：)

使用教科書： ()

教科 工業（建築） の目標：

- 【知識及び技能】 基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたありかたを理解させる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 建築に関する諸問題の適切な解決を目指し、広い視野からみずから考える能力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 建築に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組む姿勢を構築する。

科目 建築構造演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築構造に関する基礎的・基本的な知識と技術を基に、演習を通して技術者として適切に判断・表現する創造的な能力を身につける。	建築構造に関する基礎的・基本的な知識と技術を基に、演習を通して技術者として適切に判断・表現する創造的な能力を身につける。	建築物全体の安全性に関して思考を深め、構造構造に関する基礎的・基本的な知識と技術を基に、演習を通して技術者として適切に判断・表現する創造的な能力を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	木構造軸組模型の作製 【知識及び技能】 木構造軸組模型の製作を通して、加工手順や安全性に配慮し、設計・製作工程を合理的に計画・実施できる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 木構造軸組模型の製作を通して、木材の性質を学んだうえで、各部材の望ましい加工方法を思考・判断し、効率よい組立工程を創意工夫し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造軸組について自ら学び、安全で安心な構造物の設計に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・指導事項 木構造軸組模型の作製 ・教材 プリント	【知識・技能】 木構造軸組模型の製作を通して、加工手順や安全性に配慮し、設計・製作工程を合理的に計画・実施できる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 木構造軸組模型の製作を通して、木材の性質を学んだうえで、各部材の望ましい加工方法を思考・判断し、効率よい組立工程を創意工夫し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 木構造軸組について自ら学び、安全で安心な構造物の設計に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	28	
	定期考査（なし）							
2 学 期	木構造軸組模型の作製 【知識及び技能】 木構造軸組模型の製作を通して、加工手順や安全性に配慮し、設計・製作工程を合理的に計画・実施できる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 木構造軸組模型の製作を通して、木材の性質を学んだうえで、各部材の望ましい加工方法を思考・判断し、効率よい組立工程を創意工夫し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造軸組について自ら学び、安全で安心な構造物の設計に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・指導事項 木構造軸組模型の作製 ・教材 プリント	【知識・技能】 木構造軸組模型の製作を通して、加工手順や安全性に配慮し、設計・製作工程を合理的に計画・実施できる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 木構造軸組模型の製作を通して、木材の性質を学んだうえで、各部材の望ましい加工方法を思考・判断し、効率よい組立工程を創意工夫し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 木構造軸組について自ら学び、安全で安心な構造物の設計に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	30	
	定期考査（なし）							
3 学 期	鋼構造軸組模型の作製 【知識及び技能】 鋼構造軸組模型の製作を通して、加工手順や安全性に配慮し、設計・製作工程を合理的に計画・実施できる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 鋼構造軸組模型の製作を通して、木材の性質を学んだうえで、各部材の望ましい加工方法を思考・判断し、効率よい組立工程を創意工夫し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 鋼構造軸組について自ら学び、安全で安心な構造物の設計に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・指導事項 鋼構造軸組模型の作製 ・教材 プリント	【知識・技能】 鋼構造軸組模型の製作を通して、加工手順や安全性に配慮し、設計・製作工程を合理的に計画・実施できる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 鋼構造軸組模型の製作を通して、木材の性質を学んだうえで、各部材の望ましい加工方法を思考・判断し、効率よい組立工程を創意工夫し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 鋼構造軸組について自ら学び、安全で安心な構造物の設計に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	12	
	定期考査（なし）							
							合計	70